九州医師会連合会
第128回臨時委員総会

常任理事　玉城　研太朗

2024年11月15日に熊本県で九州医師会連合会第128回臨時委員総会が開催された。九州医師会連合会事業現況や歳入歳出、総会及び医学会関連行事等の報告事項4題、また第124回九州医師会連合会総会の宣言・決議（案）が承認可決された。

まず初めに本年の九州医師会連合会会長の福田先生からのお話があったが、福田先生はよく歴史のお話を挨拶の中でされるのだが、今回は以下のようなお話を頂いた。「明治25年に第1回医学会が熊本で開催され、明治40年には熊本市医師会が設立され、その翌年に熊本県医師会が創立された歴史がある。また、九州医師会連合会は大正元年に設立され、九州各県から役員を3名ずつ出して熊本の地でスタートした。さらに、大正5年に設立された大日本医師会や、大正12年に発足した日本医師会にも九州から役員が参加し、初代会長には北里柴三郎先生が就任した。また副会長には私ども熊本県の行徳健男先生が就任している。これらの背景から熊本は「医師会の故郷」の様な特別な意識がある」とのことであった。

続いて松本日本医師会長、横倉日本医師会名誉会長よりご挨拶を頂いたのだが、やはり現況の医療経営が大変厳しいこと、また財務省の医療費削減の圧力を如何に打破していくのか、本当に課題は山積であると実感させられた。とにかく現状はかなり厳しい、“ヤバイ”状況ですので、今こそ月並みではありますが医療者の“一致団結”が必要だと心より感じているところである！

引き続いて、釜萢（かまやち）日本医師会副会長←（是非みなさま“かまやち”という名前を覚えて広げて頂けますと幸いです）からのご挨拶、今村、濵口両日本医師会常任理事からのご挨拶、羽生田参議院議員からのご挨拶を拝聴した。

その後、歳入歳出の現状報告、第1号議案第124回九州医師会連合会総会の宣言・決議が承認された（本誌32～34ページへ掲載）。

その後の懇親会も大変楽しく、大御所大先輩方に可愛がって頂き、熊本の美酒に酔いしれまくりましたが、太陽と海とジョガーの祭典、NAHAマラソン前でしたので、次の日はしっかりと熊本城を走りました。ただ、、、残念ながらNAHAマラソンのゴールのテープは切ることができませんでしたが。。。

※報告書の詳細につきましてはホームページをご参照下さい。
https://www.okinawa.med.or.jp/medical/kaihou/houkoku/202303-2/